

令和6年度 第1回全国てんかん対策連絡協議会




てんかん支援拠点病院としての取り組み

山口県立総合医療センター
てんかんセンター長 藤井正美
MSW 石崎貴裕

地方独立行政法人山口県立総合医療センター 山口県立総合医療センター

1

山口県立総合医療センターについて



病床数：504床
標準診療科数：36科
職員数：1,170人
(うち医師数：145名)

年間外来患者数 20万人
年間入院患者数 14万人

三次医療を担う救命救急センターをもち、24時間体制で救急医療を行っている。

日本てんかん学会専門医2名在籍、2022年7月に山口県から「てんかん支援拠点病院」の指定を受けている。

山口県の中央「山口・防府保健医療圏」にあり、瀬戸内海寄りに位置している。所在地である防府市は約11万人の人口があり、山陽自動車道、国道2号線、JR山陽本線が通る、交通の要所である。

地方独立行政法人山口県立総合医療センター 山口県立総合医療センター

2

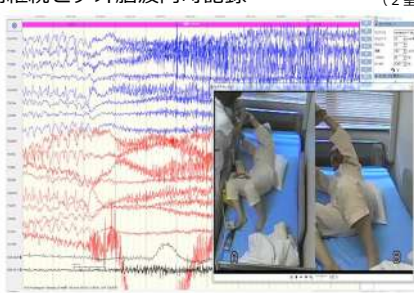
- 1 当院でのてんかん診療への取り組み
- 2 てんかん地域医療連携について
- 3 移行期医療について

地方独立行政法人山口県立総合医療センター 山口県立総合医療センター

3

1 当院でのてんかん診療への取り組み

- 長期継続ビデオ脳波同時記録 (2室)




地方独立行政法人山口県立総合医療センター 山口県立総合医療センター

4

1 当院でのてんかん診療への取り組み

- 高密度脳波検査(256ch脳波)



256ch センサーネット電極

MRI画像に重畳されたてんかん焦点


256chの電極から記録された脳波(左側頭葉てんかん)

地方独立行政法人山口県立総合医療センター 山口県立総合医療センター

5

1 当院でのてんかん診療への取り組み

- ICU持続脳波モニタリング検査 (頭蓋内脳波記録を含む)




地方独立行政法人山口県立総合医療センター 山口県立総合医療センター

6

1 当院でのてんかん診療への取り組み

- NICU amplitude integrated EEG (aEEG)



新生児科

7

1 当院でのてんかん診療への取り組み

- 半導体PET/CT
検査対象：難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる症例



- 2023年3月に山口県で初となる最新鋭半導体PET/CTを導入。
(感度が2倍に)

8

1 当院でのてんかん診療への取り組み

妊娠可能な女性へのてんかん患者
カウンセリング風景



多くの不安を抱えている！



総合周産期母子医療センター

9

1 当院でのてんかん診療への取り組み

外科治療



Stereo EEG 側頭葉切除術 脳梁全離断術 VNS DBS

10

2 てんかん地域医療連携について

- 山口県内の関係機関の連携体制を構築

2022年度

山口県てんかん治療医療連携協議会にて、多職種で構成する委員13名を組織した。

脳神経外科医	2名
小児科医	2名
精神保健福祉センター (所長)	1名
保健所 (所長)	1名
ソーシャルワーカー	1名
事務職員	1名
患者代表	3名
行政 (山口県)	2名



11

2 てんかん地域医療連携について

- 山口県内の関係機関の連携体制を構築

2023年度

山口県てんかん治療医療連携協議会の委員を20名に増員した。

脳神経外科医	2名→3名	脳神経内科医	3名
小児科医	2名→3名	障害者支援施設	1名
精神保健福祉センター (所長)	1名	就労支援事業所	1名
保健所 (所長)	1名		
ソーシャルワーカー	1名		
事務職員	1名		
患者代表	3名		
行政 (山口県)	2名		

委員のメーリングリストを作成し、連絡体制を効率化した。

12

2 てんかん地域医療連携について

- ・山口県内の関係機関の連携体制を構築

2024年度

県内19の都市医師会に連絡し、メーリングリストを作成した。各医師会に所属する医療機関への連絡体制を打診し、1,120医療機関への連絡体制が整った。



13

2 てんかん地域医療連携について

- ・当院てんかんセンターの広報

2022年度	2023年度
近隣の2医師会（170医療機関）に広報	他の2医師会に追加広報（合計4医師会、307医療機関）



14

2 てんかん地域医療連携について

- ・当院てんかんセンターの広報

2022年度	2023年度	2024年度
県民フォーラムを開催	県民公開講座を開催	県民公開講座を開催予定

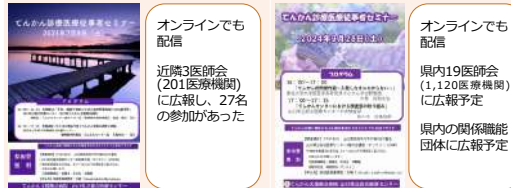


15

2 てんかん地域医療連携について

- ・医療従事者セミナーの開催・広報

2023年度	2024年度
東京女子医科大学附属足立医療センター久保田有一先生をお迎えして開催	東北大学大学院中里信和先生をお迎えして開催予定




16

2 てんかん地域医療連携について

- ・てんかん症例検討会の開催・広報

2022年度	2023年度	2024年度
院内職員を対象に5回開催	院内職員を対象に6回開催	6回開催予定



今年度は、参加対象を院外の医療従事者にも拡大する予定。
広報手段や、オンライン参加でのセキュリティについて調整中。

17

2 てんかん地域医療連携について

- ・県外の先行医療機関での研修（職員の育成）

2022年度	2023年度	2024年度
臨床検査技師 東北大学病院 てんかんセンターにて研修	理学療法士 国立病院機構 西新潟中央病院にて研修	看護師 国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センターにて研修

18

3 移行期医療について

- 山口県てんかん治療医療連携協議会の委員へアンケートを実施



【調査対象】

小児科医、小児科以外の医師、
医師以外の医療従事者

トランジションがスムーズにできているか、
その理由について意見を求めるアンケート
を実施した。



19

19

3 移行期医療について

小児科医 A **移行できている**

- 院内では積極的な脳神経外科医が引き受けてくれている。
- 状態が安定している患者は、近隣の脳神経外科医が早く引き受けてくれている。

小児科医 B **移行できていない**

- 近隣に成人科の日本てんかん学会専門医・指導医が極めて少なく、紹介先がわからない。



20

20

3 移行期医療について

小児科医 C **どちらともいえない**

- 当院では半数以上が成人後も小児科に継続通院している。
- 脳性麻痺、知的障害、神経発達症などの併存症があることが多く、親御さんや本人の受け入れが難しい。
- 成人科へ紹介する場合、多くは受けていただけるが、てんかん治療歴があるというだけで断られる場合もある。
- 小児科は単科として完結していたが、成人後は複数科へ紹介が必要なケースがある。紹介状の作成に時間と労力がかかる、主治医側がそのまま経過をみたい気持ちがある等で移行しない場合もある。



21

21

3 移行期医療について

脳神経内科医 A **移行できていない**

- 慢性期てんかん+知的障害の患者を総合的に診療する病院が限られている。
- てんかんの再発や肺炎など、一般内科で対応できる症状に対応してくれる病院が少ない。

脳神経内科医 B **どちらともいえない**

- 近隣の小児科から時々依頼があるが、問題なく受けている。
- 全身合併症の多い患者の場合は、症例によってスムーズな受け入れができない可能性がある。
- 地域でどのくらいの小児患者が移行できていないか、把握できていない。



22

22

3 移行期医療について

M S W **どちらともいえない**

- てんかんの移行期医療についての相談が増えている。
- 当院で対応可能だという周知が必要かもしれない。
- 「診るところがない」「家族・本人の不安」等から、小児科で継続診療しているケースがあるのではないかと思います。



23

23

3 移行期医療について

保健所

(医師) **わからない**

- 判断できるだけの実態が分からない。
- 実態調査等を行い、公開されているとよい。

(保健師) **わからない**

- 1型糖尿病のトランジションでは、専用のチェックリストが作られている。てんかんにおいても同様のものがあれば役立つのではないかと。



24

24

3 移行期医療について

障害者支援施設 **どちらともいえない**

- 施設自体が成人の患者しか対応していない。
- トランジションに関わることがない。

就労支援事業所 **移行できていない**


- (理由の回答なし)

25 地方協力の推進人山口県立総合医療センター 山形県立総合医療センター


25

3 移行期医療について

- Epiパスポートの活用を検討
紙媒体では扱えるデータ量が少なく、移行期医療での活用は難しいと判断した。



- スマホアプリnanacaraの活用を検討
基本機能にデータの移行機能あり。
カスタマイズで医療機関間のデータ共有を行った例があるとのこと。
業者と協働で検討中。




26 地方協力の推進人山口県立総合医療センター 山形県立総合医療センター

26

3 移行期医療について

- てんかん診療可能な医療機関リストの作成
島根県の先行事例を参考に、対応可能な年齢・病態・検査・治療等をまとめたリストの作成を検討中。



※島根県庁のHPより引用

- てんかん患者受入可能な施設リストの作成
医療機関と同様に、施設情報をまとめたリストの作成を検討中。

27 地方協力の推進人山口県立総合医療センター 山形県立総合医療センター

27



以上が当院の報告です。
拠点病院となって2年、今後も研鑽してまいります。
ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

28 地方協力の推進人山口県立総合医療センター 山形県立総合医療センター

28